

| No.              | タイトル             | 評価項目  | 自己評価   | 記述  | 運営推進会議で話しあった内容   | 外部評価  | 記述  |
|------------------|------------------|---|--|---|--|---|---|
| I.理念・安心と安全に基づく運営 |                  |   |  |   |  |   |   |
| 1                | 理念の共有と実践         | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                           | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 事業所理念はフロアに掲示し職員がいつでも目に入るようにしている。  |  |   |   |
| 2                | 事業所と地域とのつきあい     | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している     | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | ボランティア慰問を依頼し隣設している系列事業所と合同で行事を行ったり、利用者と職員が近くのスーパーへ買い物に出かけたりしている。                          | 管理者から「保育園等に訪問したいんですが、どうやって保育園に行く方法があるんですか？そのようなことはできるんですか？」という旨の内容の質問をされる。「町」に相談しに来る方もいるとは思いますが、保育園も各々行事などの予定があると思うので直接問い合わせせてみてよいのでは。」という旨の回答あり。「入善町には慰問のボランティアの紹介のほか、介護サポーターポイント事業があり、福祉施設にボランティアに行くとポイントがもらえる制度がある。その制度で小学生も夏休みなどボランティアに行っていたりもする」という話もあった。 |   |   |
| 3                | 運営推進会議を活かした取り組み  | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている             | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 2カ月に1度開催し、参加していただいた地域住民の方や行政の方からも意見をいただき、サービス向上に努めている                                     | 区長さんから「公民館だよりを毎回持参し、さまざまなイベントの案内をしており、参加できるものはしていただければと思っている。最近は夏祭りの案内をさせていただいた。」との旨の発言があり、また、2年に一度の地区の祭りでは40人ほどの住民が獅子舞で施設を訪問しているという話もあった。管理者は職員体制もあり対応が難しいときもあるが、介護サポーターポイント事業でのボランティアさんを受け入れたり、公民館のイベントなどに参加していきたいとのこと。                                      |   |   |
| 4                | 市町村との連携          | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる               | <div><div>A. 充分にできている</div><div><div>B. ほぼできている</div></div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 運営推進会議の開催の際に行政の方や包括支援センターの方に他サービス事業所の入居や利用状況を伺いスムーズな入所や受け入れができるよう取り組んでいる                  | (運営推進会議以外で)町や保険組合からはさまざまな案内やお知らせがメールで届いており、毎回確認しています、と管理者から話があった。  |   |   |
| 5                | 身体拘束をしないケアの実践    | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | <div><div>A. 充分にできている</div><div><div>B. ほぼできている</div></div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 定期的に身体拘束や高齢者虐待の事例がないか報告会を行い、勉強会も開催している。施錠については離脱リスクが高い利用者が入居している為、対象の利用者家族からは許可を得て対策をしている |  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 虐待・身体拘束に関するアンケートを法人として年1回実施されている。委員会や勉強会の開催も確実にされている。スピーチロックではないかという発言があったときには管理者が口頭で注意を行ったり、日常身体拘束を行わないケアに努めている。 |
| 6                | 虐待の防止の徹底         | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 上記同様に定期的に報告会を行い、勉強会も開催してる。またそのような場面になりそうになった時は職員を代わる等行い、虐待に結びつかないようにしている。                 |  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 虐待に関する指針とマニュアルを作成されており、研修や委員会の開催もされている。行政主催の虐待研修にもスタッフが参加し、職員会議内で報告会も行い周知した。                                      |
| 7                | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している          | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div><div>C. あまりできていない</div></div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 学ぶ機会はなかなか持てていないが、権利擁護に関する自施設勉強会を予定している。   |  |   |   |

|    |                    |   |  |   |   |  |   |
|----|--------------------|---|--|---|---|--|---|
| 8  | 契約に関する説明と納得        | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                        | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 重要事項説明書、契約書の説明後には内容で気になることや質問はないか必ず聴きながら進めている。  |   |  |   |
| 9  | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                           | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 家族の都合により話をする時間が持てない時もあるが、日頃から家族来訪や電話連絡での対応の際は話しやすい雰囲気に対応するように努めている。また受診等の迎えなどで来訪があった時に、ご本人の様子を伝えたり対応の要望を聞き、職員間で情報共有を行っている   |   | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | ご家族とは関係性が構築されており面会時で意見を聞くことがほとんどである。以前ご家族から入浴に同性の介助をしてほしいという希望があり、そのように入浴介助の対応をした。  |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映      | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                       | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 定期的に職員会議を行い職員の意見をもとに業務の効率化に取り組んでいる  |   |  |   |
| 11 | 就業環境の整備            | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 年2回の人事考課と定期的なヒアリングを行い、勤務形態や労働時間などに負担などないか本人の声を聴き、勤務しやすい環境作りに努めている。  |   | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 管理者さんに現場スタッフの意見は伝えられ、管理者で対応できることは対応し、内容によって本部に報告し法人として対応する形になっている。普段の勤務シフトについては管理者が対応し、産休開始時期の調整などは本部で対応するなど法人として対応する環境になっている。    |
| 12 | 職員を育てる取り組み         | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている       | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 自施設内で年間を通して勉強会の機会を設けている。また研修案内をいつでも見られるようにし、日々の業務で介護技術や認知症の対応に関する質問があればエリア長や管理者が答え、本人の知識や技術向上となるよう努めているが、外部での研修に参加する頻度は少ない。 |   | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 入職後はベテランスタッフが基本1ヶ月間勉強・指導する体制になっており、また自社で行なっている介護職員実務者研修の受講も受けられる体制でもある。日々の業務の中でも管理者がうまくできる方法をアドバイスしたり、ケア方法を伝えたりもしており育成の体制がいくつもある。 |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上      | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている  | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 関連法人全体での勉強会を定期的に行ない意見交換を行っている。また役職者はSNSを活用し情報の共有・収集を図っている。  |   |  |   |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係     | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                    | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 利用者の残存能力に応じて家事作業を職員と共にしたり、食事の準備を手伝ってもらいながら職員が介入し利用者同士での会話を引き出しコミュニケーションを取れるようにしている  |   |  |   |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援   | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                   | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 毎月ではないが行事で時々利用者が住んでいた町ヘドライプに出かけ公共施設(飲食店等)で過ごしたりしている。また、利用者によっては自宅を外泊をしたりしている  | 花見といえば四重奏やフラワーロードなど地域の名所があると区長さんより聞く。舟見の足湯に出かけたり近くの神社に散歩にいったり馴染みの場所に赴いている。また、家族等の急な外出の依頼にも対応していると管理者は話していた。スタッフで移動距離やゆっくり過ごせる場所を検討しているとのこと。 |  |   |

| Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |                      |   |  |  |  |  |  |
|-----------------------------|----------------------|---|--|--|--|--|--|
| 16                          | 思いや意向の把握             | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている   | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 常に共有スペースで過ごしてもらわず、本人が過ごしたい場所で過ごしてもらっている。また自宅で生活していた頃からの習慣がある利用者には入所した今でもその習慣を継続してもらっている  |  |  |  |
| 17                          | チームでつくる介護計画とモニタリング   | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している                   | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 利用者担当を決め、日頃の様子を家族に伝えたり定期的 <span></span> にカンファレンスや担当者会議の開催とモニタリング評価を行い介護計画を作成している   | 区長さん、民生委員さん、行政の方にプランを見ていただく。「話し合いやモニタリングがしっかりされていることがよくわかりました」という旨の言葉が行政の方からありました。                               | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 日ごろから利用者の希望は記録に残しており、また家族の希望は面会時や電話で確認している。プラン更新の方 <span></span> のカンファレンスは毎月行っており、カンファレンス後にプラン作成、モニタリングとPDCAサイクルでプランがなされている。 |
| 18                          | 個別の記録と実践への反映         | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                                    | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 日々の様子を記録に残し、職員間の情報共有を図っている。また課題が見えた時は臨時のカンファレンスを行い介護計画の見直しに活かしている。   |  | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | タブレットで記録をしており、いつでも記録を確認できる状況にある。出勤するスタッフは必ず記録を確認してケアするようになっている。記録をふりかえってのモニタリングをされており、記録がケア実践に反映されている。                       |
| 19                          | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々 <span></span> に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                   | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 受診の際には連絡表を作成し、わからないことがあったり指示を仰ぐときは、かかりつけ医や薬剤師に相談をしている。   | 避難場所に関する話が出て、公民館に避難するのもいいが、施設がそのまま避難場所 <span></span> でよいのではないか、と区長さんより意見があり。災害時など施設の入浴設備の活用もあってもよい、と管理者からの話もあった。 |  |  |
| 20                          | 地域資源との協働             | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                 | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 大きな季節イベント(クリスマスや敬老会)の時はボランティア慰問を依頼し系列法人の隣接施設と合同で行事 <span></span> を開催している   | 展望台や美術館横のカフェなどに出かけていると施設さんから話があった。慰問の方も地域から来られていて、地域資源を活用されている。  |  |  |
| 21                          | かかりつけ医の受診支援          | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                               | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 要望を伝えることが出来る利用者の受診連絡表には、本人の要望を記載している。要望を伝えることが出来ない場合は様子を家族に伝えたり、必要に応じ家族の許可を得て職員が医療機関へ行き主治医に状態の報告や薬の相談をしている。                                  |  |  |  |
| 22                          | 入退院時の医療機関との協働        | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 入院した際はアセスメントシートなどの情報提供書を作成し医療機関へ提出している。また退院の際には退院に向けて入院前と同じADLにできるだけ戻してほしいと伝え、退院後もまたホームで安心・安全に生活ができるよう相談し、退院許可が出た時は実調へ行き早急に退院できるよう日程調整をしている。 |  | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 入院時の情報提供は迅速に行われており、入院翌日までには情報提供書を送っている。また退院時は必要に応じて実際に病院で状態確認を行っており、協力関係が築かれている。   |
| 23                          | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる        | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 終末期対応をまたしたことが無い為できていないが、契約の際には看取り対応も状況に応じては(主治医が看取り対応が可能であれば)できることを伝えている。  |  | <div><div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div></div> | 重度化、看とりの指針を作成されており、入居時に説明を行なっている。実際に看とり対応をしている医療機関が近く <span></span> にないため看とりを行なったことはないが、医療機関次第で対応できることも伝えている。                |

|                          |                    |  |  |  |  |  |   |
|--------------------------|--------------------|--|--|--|--|--|---|
| 24                       | 急変や事故発生時の備え        | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                               | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | フロアに救急対応マニュアルを設置し、急変や事故が発生した場合はマニュアル通りに対応を行うことを伝えている。また定期的にAEDの講習会を開催し実践力を身につけている  |  |  |   |
| 25                       | 災害対策               | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                        | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 年2回火災の避難訓練、年1回の地震、災害等の避難訓練を行っている。また避難場所などが書かれた防災マップを掲示し発生時に備えている。  | 公民館に避難するのは、利用者を受け入れるのに必ずしもよい環境ではない場所なので施設にとどまる選択肢もある旨を区長さんが話される。町の合同訓練に来年度は参加したいと管理者さんの意見もあった。 | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 年に2回の火災訓練が実施され、備蓄品の準備も行なっている。今年度の町の合同訓練には体制の関係から参加できなかったが、来年度は参加したいとのこと。                    |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |                    |  |  |  |  |  |   |
| 26                       | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | <div><div>A. 充分にできている</div><div><div>B. ほぼできている</div></div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 利用者個々に合わせた声掛けをするように指導している。また排泄に関する言葉はプライバシーに配慮し他利用者には聞こえないように伝えたり、他者にはわからないよう配慮した誘導をするよう職員には指導しているが、耳が遠い利用者も居るため充分にできているとは言えない   |  | <div><div>A. 充分にできている</div><div><div>B. ほぼできている</div></div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 認知症の勉強会の中で権利擁護についての内容がありスタッフで学ぶ機会を作っている。日ごろのケアでもプライバシーに関する内容のときは声のトーンや耳からの距離などを考慮した対応を行っている |
| 27                       | 日々のその人らしい暮らし       | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している   | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 利用者一人ひとりのルーティーンや習慣を把握し自己決定できるようにしている。自己決定ができない利用者については表情や声掛けのリアクションでできるだけ意思を汲み取り本人の思いを理解するよう心掛けている   |  |  |   |
| 28                       | 食事を楽しむことのできる支援     | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている                            | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 感染予防の観点から食事中の会話は控えているが、食事の準備や配膳などは職員と行ったり、食べやすい形状に小さくする、食器を持ちやすい物にするなどして個々に合わせて提供している。またプランターで野菜を育て収穫し食べたりしている。  |  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 時期や記念日などおはぎやケーキをみんなで作って楽しんでいる。外食に出かけたり、プランターで野菜を育てたり、いただいたさつまいもをふかして食べたり食を楽しむ工夫をされている。      |
| 29                       | 栄養摂取や水分確保の支援       | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                               | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 食事摂取量や摂取状況の把握するために記録を残している。また水分摂取が苦手な方には好む飲み物を提供している。そして食べるペースが早い利用者に対してはゆっくり食べるよう声掛けをしたり、家族と相談し使用している食器を本人専用の物にしている   |  |  |   |
| 30                       | 口腔内の清潔保持           | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                                    | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 毎食後、口腔ケアを行っている。口腔内に残渣物があるときは声掛けし、うがいを多めにしてもらったり、磨き残しがあるときは職員が介助を行い仕上げ磨きをするなどして口腔内の清潔保持をしている。   |  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 利用者ひとりひとりに応じて仕上げ磨きをしたり、洗浄剤を使用したりされている。また義歯専用の歯ブラシやスポンジなども活用され清潔保持に努めている。                    |
| 31                       | 排泄の自立支援            | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 排泄チェック表を使用し一人ひとりの排泄間隔を把握している。失敗が多い利用者については付き添いを行い失敗が無いよう声掛け誘導を行っている。また衣類の上げ下げはできるだけ本人にもらい自立動作を促している。また排便コントロールの指示表を作成したり、水分を多めに促す、主治医に相談し下剤を処方してもらう等をして便秘にならないよう工夫をしている。 |  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>            | 排泄チェック表を活用し、ひとりひとりの排泄パターンに応じた対応を行なっている。自分で交換できる方は、使用用具の場所を伝え職員を呼ばなくても交換できるような配慮をしている。       |

|    |                |  |   |  |  |   |   |
|----|----------------|--|---|--|--|---|---|
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 本人が別日を希望した時は希望に合わせて入浴日を変更したり、受診や外出の予定がある時は入浴日を調整したりして対応している。入浴中も本人の気分に合わせ話をするなどして入浴を楽しんでもらえるようにしている。                         |  |   |   |
| 33 | 安眠や休息の支援       | 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 季節や個人に合わせた室温調整を行っている。冬季は自宅から毛布を持ってきてもらったり、夏季ではタオルケットを持ってきてもらうなど本人が快適に眠れるようにしている  |  |   |   |
| 34 | 服薬支援           | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 全利用者には居宅療養管理指導の契約をしてもらっている。受診毎処方される薬の情報は個人カルテに綴っており、いつでも見られるようにしている。また処方薬の内容が変わったり臨時薬の処方があった時は薬剤師から内容の変更や服薬時の注意点などの指示を受けている。 |  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 利用者は居宅療養管理指導の契約をされており、処方の変更があったときなど薬剤師に注意点などの説明を受けている。変更等あったときの注意点などな引き継ぎや申し送りで随時スタッフに伝えており、全スタッフが共有できるようにしている。 |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援    | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 本人の要望に合わせ、気候が良い時は散歩に出かけ気分転換を図っている。また洗濯物を職員と一緒に外の干場で干してもらうこともある   | 野菜作りが趣味だった方に施設で育てている野菜を育てることをやってもらったり、フルーツポンチを作る時にフルーツを並べる役をお願いしています、と管理者は話す。                    |   |   |
| 36 | 日常的な外出支援       | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                                      | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 上記のように気候に応じて散歩に出かけたり職員と買い物に出かけたりしている。全員ではないが利用者によっては家族と外出や外泊する機会を設けている利用者もいる。また外食を計画し利用者数名で食事に出かけ、その様子を広報紙に掲載し家族宛てに送付している。   | 先の項目であったように、カフェに出かけたり散歩に行くなど普段から外出する機会を作っている、と管理者よりお話あり。区長さんからも改めて、参加できるなら公民館のイベントに参加されれば、と言われる。 |   |   |
| 37 | お金の所持や使うことの支援  | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 家族から一定額の現金を預かり、本人に必要な物品(医療品や嗜好品)を購入したり、定期的にある訪問カットの支払いをしている。   |  |   |   |
| 38 | 電話や手紙の支援       | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 電話を希望する利用者がいない為使っていないが、封書が届けば本人に渡している。また年末に字が書ける利用者はキーパーソン宛てに年賀状を書いている。  |  |   |   |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり  | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 各個人の居室の家具は本人の身体機能に応じてレイアウトを変更している。また共有スペースや廊下の壁には季節の飾り付けをし、共有スペースのソファは自由に使ってもらっている。食事用のテーブルも圧迫感が無いよう適度に距離を取り移動しやすいようにしている。   |  | <div><div>A. 充分にできている</div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 日当たりなど考慮して季節ごとにソファの位置を変えたり、空調を常に利用者の快適な温度に設定している。また、なじみの関係性が図れるよう席の距離など考えたレイアウトにしている。                           |



| Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目) |           |  |   |  |   |  |  |
|-----------------------------------|-----------|--|---|--|---|--|--|
| 40                                | 本人主体の暮らし  | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています                        | <div><div>A. 充分にできている</div><div><div>B. ほぼできている</div></div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div>    | 利用者一人ひとりの声に耳を傾け、可能な限り要望に対応できるよう努めている。  |   |  |  |
| 41                                |           | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています      | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div>B. ほぼできている</div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div>            | 朝刊を取り毎朝目を通したり、午睡やラジオを聴くなど、利用者1人ひとりの習慣を継続してもらっている   |   |  |  |
| 42                                |           | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています      | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div>B. ほぼできている</div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div>            | 主治医や薬剤師に連絡表を通じて日頃の健康状態を報告し情報提供をしている。臨時で健康面で不安があるときは電話で報告を行い指示を仰いでいる。また体調不良時にはご家族に様子を予め伝え、受診が必要となった時は再度連絡しできるだけ早急に治療が受けられるよう対応をしている |   | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div>B. ほぼできている</div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div> | 毎日バイタルサインを測定し健康面の確認を行っている。受診の際には日々のバイタルサインを主治医に報告し、医療面により支援を受けられるよう連携をとっている。日々空調など意識し、体調を崩さないように配慮されている。 |
| 43                                | 生活の継続性    | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています                         | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div>B. ほぼできている</div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div>            | 休みたい時は自室で休んでもらったり、希望に応じて居室にテレビを持ち込みしてもらうなど、1人の時間も大切にできるようにしている   |   |  |  |
| 44                                |           | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています                | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div>B. ほぼできている</div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div>            | 居室には自宅で使用していた物をホームでも使ってもらったり家族写真や家族からの贈り物を飾ってもらっている  |   | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div>B. ほぼできている</div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div> | 自分の作品を居室に置いてある方、自宅で使用していた座椅子や足台、家族の写真を持参される方などなじみのものが部屋にある生活を送られている。                                     |
| 45                                |           | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている               | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div><div>B. ほぼできている</div></div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div> | 天候が良ければ希望により近所へ散歩やドライブに出掛けている。また一部利用者は家族と外出をしたり外泊をしたりもしている   | 先ほどの話であったように日ごろから外出する機会はあると管理者は話される。、またご家族の希望で外出や外泊する場合も対応し出かける支援をしているとのこと。 |  |  |
| 46                                | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div><div>B. ほぼできている</div></div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div> | 本人の身体の能力に応じて家事作業やレクリエーションを職員と一緒にやっている  |   |  |  |
| 47                                |           | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている              | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div>B. ほぼできている</div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div>            | テレビや新聞の話題、昔の地域の話題や季節の話題(田植えや学校行事など)を職員や利用者同士で話し会話をしている   |   | <div><div>A. 充分にできている</div></div> <div>B. ほぼできている</div> <div>C. あまりできていない</div> <div>D. ほとんどできていない</div> | 地元の盆踊りや田植えの話など季節になると地域で行われていることの話題を利用者同士や職員と話しすることが多い。会話につながりそうな動画やテレビを流すことで会話につなげる支援も行っている。             |

|    |    |   |  |  |  |  |   |
|----|----|---|--|--|--|--|---|
| 48 |    | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている                  | <div><div>A. 充分にできている</div><div><div>B. ほぼできている</div></div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 外食に出掛けたり、ドライブや買い物に出掛け、地域の方と交流を持てるようにしている   | 祭りは2年に1回で施設にも必ず訪問にきています。祭りはたくさんの人が参加され、40名くらいで地域を回っています、と区長さんからお話あり。今後地域の保育園との交流も考えている、と管理者が話す。  |  |   |
| 49 | 総合 | 本人は、このGHIにすることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | <div><div>A. 充分にできている</div><div><div>B. ほぼできている</div></div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 職員とコミュニケーションをよく取り信頼関係を築き、思いを伝えやすい雰囲気作りを心掛けている。家族や地域の方たちとの面会や交流を通して楽しみのある暮らしができるよう努めている | いろいろと施設が頑張っていることがわかりました、と民生委員さん。公民館のイベントや無形文化財など参加は難しいかもしれないが、今後も案内していきます、と区長さん。楽しみのある生活をしてらっしゃって、特に外出をよくされていますね、と行政の方のお話がありました。職員と利用者さんの距離が近く、不安や希望を聞いたらすぐ実行できるようにしている。と管理者さんは話す。 | <div><div><div>A. 充分にできている</div></div><div>B. ほぼできている</div><div>C. あまりできていない</div><div>D. ほとんどできていない</div></div> | 外出することが多く、地域のさまざまな場所に出かける楽しみがある。体調管理や医療との連携などを図り健康面でも安心できる体制にある。利用者と職員の距離も近く、よりよい日々を送られている。 |